

第9回 防災・環境シンポジウム

開催日時：平成27年12月17日（木）15：00～18：15 （受付：14：40）

会 場：琉球大学 共通教育棟2号館301教室

主 催：琉球大学 島嶼防災研究センター

共 催：一般社団法人 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会

目 的：琉球大学島嶼防災研究センターでは主に地震、地すべり、津波、台風等の自然現象の解明と予知技術を研究してきました。また、それらがもたらす災害の軽減と被災後の救急・ケアに関する研究、構造物や機器の劣化と災害との関連等についても継続的な検討をしています。このような研究活動と企業や自治体との協働での活動を視野に入れることによって、防災・減災に関する事業が意義あるものになってくると思わます。このようなことから、本センターを主催とし、(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツが共催し、防災・環境シンポジウムを開催してきました。今回は9回目となりますが、今回の内容も企業や自治体との係わりに関する内容が前回に引き続き講演されます。このようなシンポジウムの開催が今後とも社会と大学とのかかわりの重要性を示すものとなると確信します。

【プログラム】 司会 藍檀 オメル（琉球大学島嶼防災研究副センター長）
新垣 健二（一般社団法人 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会
河川・海岸海洋分科会リーダー）

1. 15:00～15:08 開会辞 西田 睦（琉球大学理事・副学長）
2. 15:08～15:15 センター長挨拶 真壁 朝敏（琉球大学島嶼防災研究センター長）
3. 15:15～15:30 「国道331号沿いに発生した崩壊について」
井上 英将（株式会社 南城技術開発）
4. 15:30～15:45 「再生水農業利用による環境保全効果とリスクコミュニケーション」
藤田 智康（株式会社 碧コンサルタンツ）
三輪 千晴（京都大学大学院）
5. 15:45～16:00 「地殻工学防災研究における共同研究について」
藍檀 オメル（琉球大学工学部環境建設工学科）
渡嘉敷 直彦（地殻工学防災研究所・

島嶼防災研究センター研究開発室 A)

6. 16:00～16:15 「気象レーダーが捉えた台風 15 号と 21 号の暴風」
山田 広幸 (琉球大学理学部物質地球科学科地学系)
7. 16:15～16:30 「防災読本」出版計画
松本 剛 (琉球大学理学部物質地球科学科地学系)
中井 仁 (小淵沢総合研究施設)「防災読本」出版委員会
- 16:30～16:45 休 憩 —————
8. 16:45～17:00 「レンタルラボ研究開発室 C 研究概要」
米盛 徳市 ((一社)全国自治会活動支援ネット沖縄支部・
島嶼防災研究センター研究開発室 C)
9. 17:15～17:30 「国際感染症対策・防災にむけた取り組み」
～看護ケアの視点・琉大から発信～
大湾 知子 (琉球大学医学部保健学科)
10. 17:30～17:45 「疲労き裂進展抑制手法についての検討」
名嘉 海人、葛島 由文 (琉球大学大学院理工学研究科)
真壁 朝敏、宮崎 達二郎 (琉球大学工学部機械システム工学科)
11. 17:45～18:00 「塩害環境下のコンクリート構造物の耐久性を向上させる工法」
塩田 哲康 (株式会社 日興)
12. 18:00～18:05 センター活動概要 (琉球大学島嶼防災研究センター長)
13. 18:05～18:15 閉会の辞 池村 弘 (一般社団法人 沖縄県測量建設コンサルタンツ
協会長)